

演題

結果の安定は本当か？～実際の PRGF 症例から考える～

氏名 樋口 琢善

抄録

PRGF(Plasma Rich in Growth Factors Technology)はスペイン BTI 社 Dr. Eduardo Anitua により開発された自己血の中の成長因子を有効に且つ効果的に使用する医療技術で、使用される機器は遠心分離機及び使用する消耗品は『ENDORET PRGF システム』として歯科界では初めて薬事承認されています。

PRGF は他の PRP と大きく違い、自己血を採取後専用遠心機で特殊な回転コントロールのもと分離し、赤血球、白血球と完全に分離した濃縮血小板血漿を取りだせる技術で含まれる血小板は遠心分離後無活性のまま留まり、術者の考えるタイミングで術野に成長因子が放出出来るよう設計されています。白血球を含まず、血小板が壊れていない血漿を誰がやっても獲得できるシステムなのでそれを意図するタイミングで使用すれば安定的な結果が約束されているのだと考えます。

今回は PRGF の理論的な裏付け、その具体的な使用方法そして臨床結果を見て頂く事やその臨床上の注意点などを出来るだけ判り易くお伝えさせていただきます。また日本では未販売ではあるが BTI インプラントの有効性なども紹介させていただきます。

略歴:

1996 年 松本歯科大学卒業 ひぐち歯科

1999 年 青木歯科(久留米市)

2002 年 ひぐちファミリー歯科開業

2022 年 松本歯科大学社会人大学院入学

所属:

日本歯周病学会

日本臨床歯周病学会(認定医)

日本口腔インプラント学会

日本顎咬合学会

日本審美歯科協会

OJ 日本包括歯科臨床学会(副会長) JACD(会長) 北九州歯学研究会

演題

最新のテクノロジー - iTero Lumina が紡ぎ出す Face-Driven 歯科治療とは-

氏名 麻生 幸男 柿本 薫

抄録

iTero を用いたフェイシャルドリブな歯科治療は、患者の臨床期待値、快適性を向上させ、私達は診断と治療計画の精度を高めることで、より効果的で効率的な歯科治療を実現します。デジタルツールを使用した患者データの取得から始まり、データの統合まで、仮想患者の作成につながり、2D および 3D CAD ソフトウェアを使用して患者の個々の状態に最適化された治療計画を立案できます。現在、IOS は修復、補綴、矯正、インプラントを含む口腔外科手術において重要な役割を果たしています。それらの技術的進歩とアプリケーションの概要を説明します。開発が進むにつれて、他のデジタルツールやソフトウェアソリューションとのより良い統合を含む iTero のテクノロジーの将来は、歯科治療におけるその有用性をさらに高め患者と医療者の双方にとって有益なものとなっていくことでしょう。

麻生 幸男

医療法人社団ワンアンドオンリー 理事長

麻生歯科クリニック 院長

略歴

1996 年 明海大学歯学部歯学科 卒業
1999 年 麻生歯科クリニック 開院
2009 年 小児歯科矯正歯科 ASO KIDS DENTAL PARK 開院
2014 年 日本歯科大学附属病院総合診療科 2 臨床講師
2017 年 明海大学 臨床講師
2023 年 昭和大学大学院歯科矯正学 修了

所属

公益社団法人日本口腔インプラント学会 専門医
一般社団法人ジャパンオーラルヘルス学会 認定医
公益社団法人日本歯科先端技術研究所
CAMBRA(キャンブラ) インストラクター
昭和歯科大学 歯科矯正学講座 研究生
公益社団法人 日本歯科先端技術研究所所属
公益社団法人 日本口腔インプラント学会 専門医

日本顎咬合学会 認定医
静岡県口腔インプラント研究会 副会長
日本臨床歯科 CAD/CAM 学会
一般社団法人ジャパンオーラルヘルス学会 認定医

柿本薫

略歴

1998 年 鶴見大学短期大学部歯科衛生科卒業
2010 年 医療法人社団ワンアンドオンリー麻生歯科クリニック勤務

所属

一般社団法人ジャパンオーラルヘルス学会予防歯科認定歯科衛生士
一般社団法人日本顕微鏡歯科学会認定歯科衛生士
静岡中部糖尿病療養指導士
日本歯周病学会認定歯科衛生士
日本アンチエイジング歯科学会認定歯科衛生士
一般社団法人日本デジタル歯科学会

講演歴

2019 年 一般社団法人ジャパンオーラルヘルス学会第 22 回学術大会一般口演
「歯周治療により妊娠糖尿病が改善された一症例」
2020 年 同学会誌論文投稿
2023 年 一般社団法人日本デジタル歯科学会第 14 回学術大会歯科衛生士シンポジウム講演「デジタルデンティストリーの恩恵」
公益社団法人日本歯科衛生学会第 18 回学術大会一般口演「地域糖尿病療養指導士の取り組みに関する報告」
一般社団法人ジャパンオーラルヘルス学会第 25 回学術大会一般口演「2型糖尿病患者に歯科定期管理と医療連携を行なった一症例」

2024 年 同学会誌論文投稿

一般社団法人日本デジタル歯科学会第 15 回学術大会歯科衛生士セッション講演
「歯科衛生士診療のデジタル化—記録のとりかたと患者への活用—」

演題

どっちを選ぶ？～メタルポストか？ファイバーポストか？～

氏名 池上 龍朗 渥美 克幸

抄録

支台築造は患歯の寿命を大きく左右する処置であるにもかかわらず、大学教育において「支台築造学」という学問は存在せず、補綴科が処置するのか、歯内療法科が処置するのかあいまいな部分も多い。

本邦では 2003 年のファイバーポスト国内認可より以前から、メタルポストか？ファイバーポストか？という議論は行われてきた。さらに 2015 年の保険収載、金属価格の高騰を背景に、近年はファイバーポストが一気に普及したが、いまだにメタルポストか？ファイバーポストか？という議論に終止符は打たれていない。今回は支台築造にこだわりの深い 2 人の論客がお互いの症例を持ち寄り、それぞれのメリット・デメリットについてディスカッションを行う。

池上 龍朗 Tatsuo Ikegami, D.D.S., Ph.D.

福岡県開業

医療法人池上医院 富山歯科クリニック

Tomiyama Dental Clinic

略歴

2000 年 九州大学歯学部卒業
九州大学歯学部附属病院 第二補綴科 研修医勤務

2002 年 九州大学大学院(歯学研究院口腔機能修復学講座)入学

2006 年 同大学院 卒業

福岡県福津市 水上歯科クリニック 勤務

2010 年 福岡県北九州市 富山歯科クリニック 開業

2023 年 医療法人池上医院へ名称変更

所属

日本臨床歯周病学会 認定医

日本臨床歯周病学会 歯周インプラント認定医

Japan United Colleagues (JUC) 会員

OJ 理事

日本歯周病学会 会員

日本口腔インプラント学会 会員

日本顎咬合学会 会員

近未来オステオインプラント学会 会員

日本臨床歯科補綴学会 認定医

渥美 克幸 Katsuyuki ATSUMI,D.D.S.

経歴

2002 年 長崎大学歯学部 卒業

2002 年 医療法人社団 歯友会 赤羽歯科 勤務

2010 年 デンタルクリニックK(埼玉県川口市) 開設
現在に至る

所属

日本審美歯科協会 会員

長崎大学歯学部 非常勤講師

日本接着歯学会 専門医・指導医

日本顕微鏡歯科学会 認定医・認定指導医

Osseointegration Study Club of Japan 正会員

JIADS 常任講師

デンタルアーツアカデミー 講師

ZEISS Certified Speaker (Regional/APAC)

演題「オールスタッフで活用！患者さんの信頼につながるネクストビジョン～実践編～」

氏名 岩崎由美 濱田英美 市尾穂波

抄録

人口減少に伴い都道府県別 10 万人対歯科診療所数は全体的に増加傾向であり、特に地方の競争が激化しているらしい。競合が増え、人材採用も難しく、コスト高の状況において医院が成長していくためには、他院との差別化を図った「医院の強み」が必須である。急速な歯科における DX 化に対応すべく、新たな設備投資を余儀なくされている中で、まずは患者さんへのアピールになり実用的な設備を導入したいと考えるのではないだろうか？当院は従来のマイクロスコープに加えて新たにネクストビジョンを導入し、患者満足度を向上させるポイントとして挙げられる「確実な診断」「視覚的に分かりやすい説明」「正確な治療」につながるサポートとなっている。また何よりスタッフ全員がそれぞれの役割において活用できる「コスパの良い」機器であることを実感している。

今回 Dr、DH、DT の立場からネクストビジョンの活用方法についてお話させていただきたい。

岩崎由美

2000年 鹿児島大学歯学部卒業

鹿児島大学第二口腔外科学講座(現:顎顔面外科学)入局

2003年～2008年 鹿児島市児玉歯科クリニック勤務

2009年 YUMI DENTAL OFFICE 開業

日本歯周病学会認定 歯周病専門医・指導医

日本臨床歯周病学会 指導医

日本臨床歯周病学会 歯周インプラント指導医

日本審美歯科協会会員

Women Dentists Club (WDC)所属

濱田英美 はまだえみ

2006年 鹿児島歯科学院専門学校 歯科技工士科卒業

2009年 YUMI DENTAL OFFICE 入社

市尾穂波 いちおほなみ

2016年 鹿児島歯科学院専門学校 歯科技工士科卒業

2020年 YUMI DENTAL OFFICE 入社

演題

DHと考える歯周治療システム構築の秘訣

～再生療法をもっと身近に リグロスが変える歯周治療～

氏名 芳賀剛

抄録

歯周病は非常に複雑な疾患であり、未だに解明されていない点も多くあります。治りやすい症例もあれば、標準的な治療を行っても改善が難しい症例も存在するのが現実です。また、歯周病治療は患者さんのプラークコントロールに大きく依存するため、治療が他者に左右される側面があり、その難易度をさらに高めています。良好な治療結果を得るためには、患者さんのセルフケアの向上、歯科医師の診断力・技術力、そして歯科衛生士のモチベーション管理やスキルが不可欠です。しかし、これらすべてを歯科医師一人で管理するのは現実的ではありません。そのため、医院全体で効率的かつ効果的な体制を構築することが重要になります。本講演では、エビデンスに基づき、「引き算」の視点から治療プロセスをシンプル化する方法を提案します。また、外科的介入が必要な場面についても触れ、リグロスを用いた再生療法について解説いたします。患者さんに最大限の結果を提供するための取り組みや、具体的な実践例を共有し、効率と成果の両立を目指すための方策を、皆さまとともに考えていければと思います。

略歴:

2003年 九州歯科大学卒業

2008年 芳賀歯科・矯正歯科クリニック開業

2019年 学研都市歯科・矯正歯科へ名称変更

所属:

日本歯周病学会(専門医)

日本臨床歯周病学会(認定医/インプラント認定医)

日本口腔インプラント学会(専門医)

日本顎咬合学会(認定医)

日本審美歯科協会

日本顕微鏡歯科学会(認定医)

ITI(日本支部公認インプラントスペシャリスト)

北九州歯学研究会

演題

ついに完結！！失敗の少ないインプラントシステム『FINESIA Relios』

氏名 水上哲也

抄録

私たちにとって有用なインプラントシステムはどのようなものでしょうか。まず第1に、安心安全なシステムであること、第2に長期的に安定なインプラントシステムであること、そして第3にさまざまな状況に対応できるオールラウンドなシステムであり、かつ経済的要素を満たすものであることであると私は考えています。2016年にFinesiaインプラントシステムは上梓されましたが、その臨床結果は私たちの期待以上に良好であり、昨年には表面性状、インプラント体母材が刷新されたReliosが上梓され、その臨床結果にこれまでのFinesiaを上回る満足感を私たちは感じています。さらに改良されたティッシュレベルタイプのReliosが上梓されたことで、このFinesiaシステムは当初の目標をほぼ満たしたインプラントシステムになったと感じています。今回の講演ではついに開発当初の目標を達成したFinesiaインプラントシステム、なかでも改良されたReliosの特徴と長所について紹介させていただきたいと思います。

略歴

- 1985年 九州大学歯学部卒業
九州大学歯学部補綴学第一教室
- 1987年 九州大学歯学部文部教官助手
- 1989年 西原デンタルクリニック勤務
- 1992年 福岡県福津市(旧宗像郡)にて開業
- 2005年 医学博士号取得
- 2007年 九州大学歯学部臨床教授

演題

安全で確実な GBR のための器具と材料の選択について

氏名 中田光太郎

抄録

「骨補填材料やボーンタック、メンブレンなど GBR においてどの材料を用いれば良いのかわからない」「GBR での縫合部の裂開を防ぐにはどうしたら良いか知りたい」「どのような症例から GBR を始めれば良いのかわからない」と、日々の臨床で感じている“GBR 難民”の先生方に向けて、GBR に欠かせない器具の紹介や GBR を始めるにあたって必要なことを著した書籍の紹介をはじめ、安全で確実な材料選択および術式に至るまで、初学者でもわかるように動画や写真を用いてわかり易く解説する。

特に昨年、インプラテックスから発売になった Prof. Istvan Urban が開発に関わったマスターピンコントロール、デコルチケーションドリル(マイジンガー社製)についてはこの機会を通じてより詳しく紹介したい。

略歴

1990 年 福岡県立九州歯科大学歯学部 卒業

1994 年 医療法人社団洛歯会 中田デンタルクリニック開設

2009 年 医療法人社団洛歯会 デンタルクリニック TAKANNA 開設

2021 年 京都府立医科大学 大学院医学研究科/医学部医学科 客員教授

所属

日本臨床歯周病学会 認定医

日本口腔インプラント学会 専門医

日本顕微鏡歯科学会 指導医

ITI(International Team for Implantology)Fellow